

夏休みは「充電の期間」です。

「有為転変は世の習い」ということわざがあります。「この世は常に激しく移り変わり、とどまることなく変化するものだ」という意味で、仏教の根本原理の一つである「諸行無常」や「万物流転」に通じるものとも言えましょう。

有為転変は、その殆どが自然災害によるものと考えられがちですが、近年は人為的な厄災も恐ろしいまでに頻発しています。さらには両者の複合的な要因によるものも・・・いずれにせよ、これまでの平和で穏やかな日々が、いきなり牙を剥いた厄災によって理不尽にも断ち切られる悲しみというものには、想像を絶する耐え難さがあります。

この度の西日本の豪雨災害は言うに及ばず、6月の大阪北部大地震も記憶に新しいところですが。朝の通学の時間帯に、一人の小学生の女兒が、いつもの通学路で倒壊したブロック塀の下敷きになり、若い命を散らすという痛ましい事故が起こりました。その日、少女は通学指導の挨拶当番としての役目を果たすために、通常より少し早く家を出たそうです。もし、当番でなかったら、あるいは家を出るのがほんの少しでも遅れていたら、大人の誰かと一緒だったら・・・幾つもの「もし」が次々と頭に浮かびます。しかし、現実を取り返しのつかない悲劇をもたらしました。これから先、どんな輝かしい未来がこの9歳の少女には拓けていたのでしょうか。それが無残にも断ち切られた悲しみの通夜で父親が気丈に語ったこの言葉に、私は涙を禁じ得ませんでした・・・入学前の少女に父親が渡した「ハッピーになるための10か条」の手紙。「大きな声で挨拶をする」、「困っている人を助ける」などの目標を示したものであったそうです。最後に「今思えば、娘はそれをすべて実践していた」と・・・そうでした。「この日も」彼女にとってはいつもの日常だったのです。

同時にこれはすばらしい「家族の10か条」でもあったのだと思いました。大人でも大切な約束事。改めて目標を持って生活する、自らの責任を果たす、常に向上心を持って努力することの大切さを、尊い生命と引き換えに教わったような気がします。明日が必ずやって来るとは誰も断言できない。であるからこそ、今日一日を悔いの無いように精一杯生きる。きっと高校生の皆さんにも共通するものに違いありません。

さて、「自分を認め、相手を認める」を学校教育目標に掲げて今年度がスタートしてから、早や4ヶ月。生徒たちのさらなる成長の可能性を秘めた夏期休業は、もう目前です。特にも、1年生は高校生活初の「楽しい夏休み？」にワクワク感でいっぱいなのでしょう。しかし、厳密には夏期休業は単なる「お休み」ではありません。普段の学校生活から離れて、身体と脳をリフレッシュしてこれまでできなかった体験をしたり、新たな自分を発見したり、柔軟な発想を生んだりするための大切な期間です。さらには、来学期以降の活発な活動に向けてのエネルギーを蓄えるための充電の期間。それが「夏期休業」であることを改めて確認しておきましょう。この期間は「自由な時間」がたっぷりあるように思いがちですが、あいにく時間は有限です。しかし、嬉しいことにその使い方は無限です。慌しく駆け抜けたこれまでの自分の歩みを振り返って、進む道を再確認するもよし、親子で対話を深めるもよし、家族で楽しい思い出づくりをするもよし。各学年に応じた各ご家

庭それぞれのやり方で、この期間を有意義に過ごしていただくことを願っております。身体を鍛えること、読書によって未知の世界への旅をすること、働く経験を積むこと、多くの出会いを新たな自分の発見に繋げること・・・それぞれの知恵と工夫がきっと豊かな生きた時間を生み出すことでしょう。特に3年生以上の皆さんは、この夏が進路活動の正念場となります。「なりたい自分」になるために、しっかりと自分に向き合い、必要な努力を重ねましょう。また、保護者の皆様には人生の先輩としてのアドバイス等も含め、温かいご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

校長 酒井久美子

夏休みを有意義に過ごしてください。

7月24日（火）から8月19日（日）までは、「夏休み（夏期休業日）」です。

補習や進学課外、学習課題やインターンシップといった予定が、びっしり詰まっている生徒も多いと思います。やるべきことは、一つ一つ確実に行ってください。

以下に、休み中の注意事項をあげておきます。

- * 夏休み期間は、教員が出張や会議などで不在の時があります。
教員に用事があって学校に出向く場合は、必ず事前に電話で都合を確認してください。
- * 三者面談期間終了後は、各学年の玄関を施錠しますので、生徒が用事で登校する場合は、正面玄関から入ってください。
その際、「氏名・用件・入退室時間」を、指定の用紙に記入してください。
- * 諸注意や連絡事項は、各業務部からの配付物で確認してください。
「夏休みの生活について」(生活指導部) 「夏休みの学習について」(教務部)

始業日は、8月20日（月）です。

始業日の日程

※講堂イス並べ 3年高原組

- * SHR…………… 8：40～ 8：45
- * 全体集会（講堂）…… 8：55～ 9：50 ※聖書・讃美歌持参
- * ホームルーム…………… 10：00～10：45 ※「夏休み報告書」清書
- * 休み明けテスト
 - ①国 語…………… 11：00～11：40
昼休み…………… 11：45～12：25 ※パン販売あり（11：40～）
 - ②数 学…………… 12：30～13：10
 - ③英 語…………… 13：20～14：00
- * 掃除グループ活動…… 14：05～14：20
- * SHR…………… 14：25～14：40 ※学習課題・雑巾提出

「上履き」は夏休み中に洗い、登校の際は忘れずに持ってきてください。

熱気とパワー全開！スポーツ大会。

6月22日（金）、毎年恒例の「スポーツ大会」が行われました。

これは、生徒委員会が中心となって企画・運営する行事であり、今回もクラス対抗による熱戦が繰り広げられました。開会式後には、有志対抗による「リレー競技」も行われ、こちらも大いに盛り上がりました。

大会に向けてチームごとに練習に励んだり、組ごとにTシャツを作ったりと、生徒同士のつながりを改めて実感する機会になったと思います。

結果は以下の通りです。

【優勝チーム】

バスケットボール（女子）…3年Aクラス	バスケットボール（男子）…3年Aクラス
卓球（女子）……………1年Aクラス①	卓球（男子）……………2年Aクラス
バドミントン（女子）……………2年Dクラス	サッカー（男子）……………1年Cクラス



リレーには「マリオ」も出現！



サッカー(男子)



バスケットボール(女子)

スコーレ祭のテーマが決まりました。

今年度のスコーレ祭、一般公開日は「10月20日（土）」ですが、そのテーマが「百花繚乱（ひゃっかりょうらん）」に決まりました。

これは「様々な種類の花が色とりどりに咲く様子」という意味であり、そこから「多種多様な人々が一堂に会する状況」という意味にもなります。これこそまさに、スコーレにぴったりな言葉だと思えます。

係ごとの顔合わせも終わりましたので、これから本番までの間、生徒リーダーを中心にしっかりと準備を進めて行っていただきたいです。

10月18日(木)スコーレ祭準備 19日(金)校内発表

10月20日(土)スコーレ祭「百花繚乱」

普通登校～8:40 開場9:30 閉場15:30(入場は15:00まで)

10月21日(日)休日 22日(月)代休

8月の予定をご確認ください。

日	曜	行事予定	学年食
1	水	夏休み(7/24~8/19) インターンシップ実施(2・3年希望者 8/19までの5日間程度) 演劇地区大会(8/1~8/3) AO入試出願開始	
2	木	演劇地区大会(スコレ上演日 10:00~11:00 県民会館中ホール)	
3	金	演劇地区大会	
4	土	高校生「調理・製菓」コンテスト(チョコリコン)決勝(北日本ハイテクニカルカレッジ)	
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		
10	金		
11	土	山の日	
12	日		
13	月	お盆休み	
14	火	お盆休み	
15	水	お盆休み	
16	木	お盆休み	
17	金		
18	土		
19	日		
20	月	始業日 休み明け実力テスト 就職申込書提出〆切日(統一選考日分)※厳守 教育実習(8/20~9/7)	
21	火	互見授業研修週間(8/21~28) バスケットボール選抜予選(8/21~23 盛岡)	2年
22	水	互見週間 チューター毎夏休み報告会(6校時) バスケットボール選抜予選	1年
23	木	互見週間 就職推薦会議 バスケットボール選抜予選	
24	金	互見週間	3年
25	土	高校生レストラン#6	
26	日		
27	月	互見週間	
28	火	互見週間 テスト前部活動停止(~9/6)	2年
29	水		1年
30	木	夏休み全体報告会(1校時 講堂) 菅原憲先生心理相談	
31	金	県高総文祭軽音楽・セミサポ(盛岡) 寮生帰省日	3年

※「互見(ごけん)授業」とは、教員同士でお互いの授業を見学することです。

お願い

学校通信は、毎月発行しております。
 お子様を通して配付いたします。
 生徒の皆さんは、その他の様々な通信も、
 お家の方に必ず渡してください。

盛岡スコレ高等学校

〒020-0851 岩手県盛岡市向中野 5-5-1

電話 019-636-0827 FAX 019-636-0830

E-mail school@schole.jp <http://www.schole.jp>